

養蜂ほどやりがいのある趣味はありません。
ミツバチは本当に魅力的な生き物です。

Welcome to beekeeping with Flow® Hive...



Less
labour,
more
love...

ミツバチは数百万年も前から存在していて、ハチミツはずっと人間に親しまれてきました。このスーパーフードは、人間の脳の進化において重要な役割を果たしたとも言われています。

しかし、近年では、ミツバチと人との関係に危機が訪れています。人間が地球に与える影響によりミツバチの数が減ってしまい、人間を含む地球上のすべての植物や動物に深刻な影響をもたらす可能性がでてきたのです。養蜂を始めたばかりの人は、多くの人と同じように、あっという間に夢中になるでしょう。ハチミツが手に入る他、自分の巣箱をもつことでガーデニングにも役立ちます。ミツバチが受粉を行うことで、フルーツやナッツの木、そして庭にあるたくさんの植物が豊かになるのです。

ミツバチは、私たちが普段から消費している食品や、より広範な生態系にとって不可欠です。たくさんのミツバチがいればいるほど、私たちの生活は豊かになるのです。



私たちが消費する作物の3分の1と植物すべての半分以上がミツバチによって受粉されています。

Flow®の技術とシステムを使えば、ハチミツを採る作業はこれまでよりもはるかに簡単になります。けれども、養蜂はミツバチへの愛をもって行う作業だということを忘れてはいけません。健康な蜂群を維持するためにはしっかりとミツバチたち

の世話をする必要があります。それは、終わることのない発見の旅と言えるでしょう。ミツバチが花粉や蜜を集める様子をゆっくり眺めたり、養蜂作業を楽しみながら、自然との繋がりを感ずることが出来ます。でもこれまで、採蜜はとても大変な作業でした。ミツバチに刺されることもあり、高価な道具も必要で、筋肉痛になるような重労働だったのです。

シダー・アンダーソンは、子どものころからミツバチを飼っていたので、そのことをよく分かっていました。そして約10年前の特に暑いある日、大変な採蜜作業をしていたときに、もっと良い方法があるはずだと気づいたのです。



Stu and Cedar Anderson

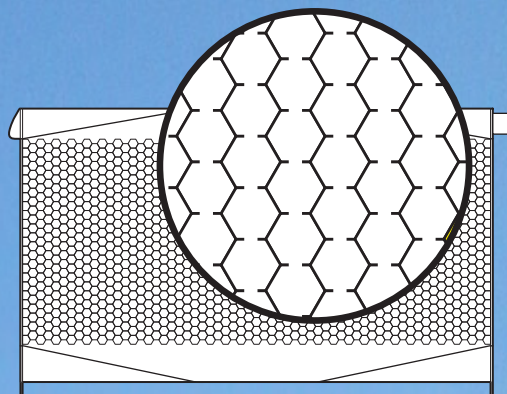
シダーと父親のスチュアート・アンダーソンは、すぐに自分たちの小屋にこもり、試行錯誤を繰り返し、ついに Flow® Hive という「養蜂家の夢」を形にしました。

Flow® Hive とは？

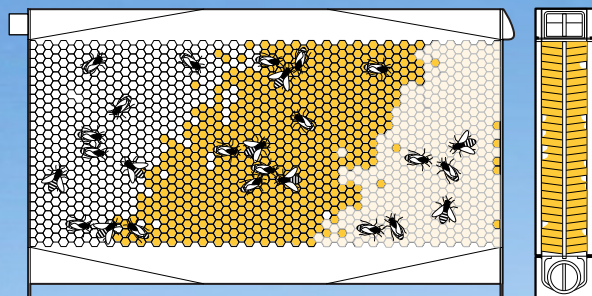


Flow® Hiveを使えば、いつでもミツバチの様子が確認でき、蜜がいつ貯まっているのかが分かります。そして、養蜂家とミツバチの双方にとって、これ以上なくやさしい方法でハチミツを採ることができるのです。

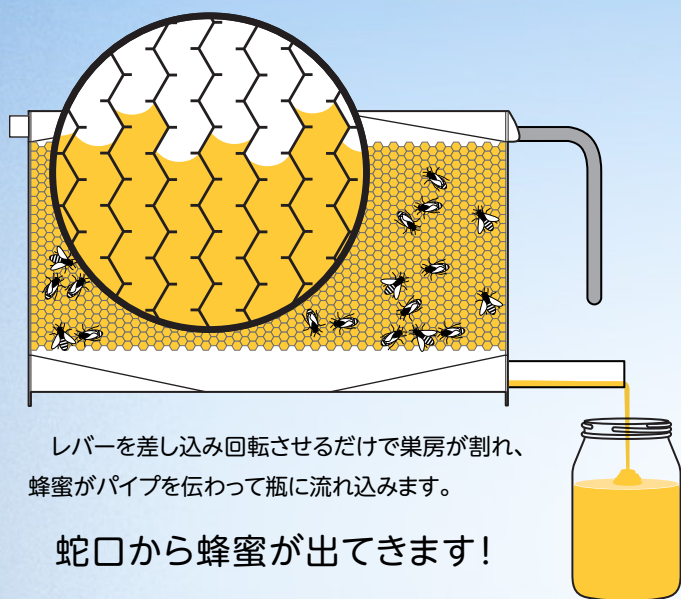
Flow® Frameは、現在主流になっているラングストロース式の巣箱が1852年に設計されて以来、養蜂技術の最も革新的な発明だと言われています。



Flow® Frameは人工的なミツバチの巣で、ミツバチが巣板を完成させ、ハチミツで満たし、蜜ろうでフタをします。フレームはBPA・BPSを含まないプラスチック製で、オーストラリアで生産されています。



端が透明になっているので、巣房にハチミツが溜まったかどうか、採蜜の準備ができたかどうか一目でわかります。



レバーを差し込み回転させるだけで巣房が割れ、蜂蜜がパイプを伝わって瓶に流れ込みます。

蛇口から蜂蜜が出てきます！



↓
詳しくは
ウェブサイトへ

初心者のためのヒント ミツバチに触れるのは初めてですか？養蜂を始めたい方へ…

- 本を読んでミツバチに関するすべてのことを学びましょう
- 養蜂ビデオを見ましょう
- 地元の養蜂グループやフローハイズのフォーラムで、養蜂家と語り合しましょう
- 巣箱の置き場を考え、害虫や病気について復習しましょう
- 巣箱の届け出をして、住んでいる地域の養蜂に関するあらゆる規則に必ず従ってください
- 防護服を着て燻煙器と巣箱の道具を入手しましょう

Flow® Hive、ミツバチ、養蜂についての詳細は、Flow® 公式サイト eu.honeyflow.com
または、日本正規代理店 藤原養蜂場ウェブサイト flowhive-fy.com をご覧ください。

